



酒田市（オープン参加）

DATA

【人口】	97,509	人（R4.12.1現在）
【面積】	602.98	平方キロメートル
【職員数】	804	人（R4.4.1現在）

《発表のテーマ》 スマートアイランド “ 飛島 ”

<発表概要>

2020年から専門部署を設けてDX（デジタル変革）に取り組む酒田市。今回は、コロナ禍で感染対策にも取り組む中、乗船定員を半減させ、全便予約制による業務負担を定期船予約システムの内製化によって効率化した業務改善を、さらには「夏のDigi田甲子園」で内閣総理大臣賞を受賞した「飛島スマートアイランドプロジェクト」についてご報告（ご紹介）します。

<改善運動の特色やアピールポイントなど>

酒田市の業務改善運動の目的は「人づくり」です。改善を意識して業務に取り組む姿勢やカイゼンを通じてできるネットワークは、人づくりに繋がります。「徹底的にほめる」を合言葉に、何事にも意欲を持って取り組もうとする人材を育成し、個々の能力を発揮できる組織づくりを目指しています。

今年度は、若手職員を中心としたカイゼンサポーターが、改善事例「頑張っている・広く知ってもらいたい取り組み」を集めて、広く周知する活動を行っています。

<メッセージ・意気込み>

酒田市の業務改善運動の仕掛人が満を持して中野区に乗り込みます!!!
魅力あふれる“飛島”もついでにPR!?



クルーズ船で賑わう酒田港



酒田大獅子（酒田まつり）



国指定史跡「山居倉庫」



スマートアイランド「飛島」

部署名	デジタル変革戦略室
タイトル	スマートアイランド “飛島”
改善前 【Before】	<ul style="list-style-type: none">■定期船とびしまは、コロナ禍により予約制を基本としたが、人数変更や欠航時の電話対応に苦慮■人口がピーク時の1割にまで減少し、高齢化率が80%を超えた飛島 今後の不安が増大

取組内容

■定期船とびしま予約システム構築

- ・予約システムの内製化
- ・タブレット端末の導入 など

■海底光ファイバケーブル敷設

■飛島スマートアイランドプロジェクト始動

- ・飛島振興プロジェクトによる“真”のニーズ把握
- ・DX推進連携協定の締結
- ・国交省実証事業の実施
- ・「Digi田甲子園」で内閣総理大臣賞受賞

効果
【After】

(改善の成果
・取組の効果)

■定期船とびしま予約システム構築

- ・スマホがあれば、いつでも、どこでも定期船の予約・変更などが可能
- ・欠航連絡や予約変更への対応がスムーズに
- ・飛島事務所とリアルタイムで情報共有
- ・ヒューマンエラーが減少

■飛島スマートアイランドプロジェクト

- ・計画的な事業展開
- ・全国規模での事例紹介機会の増大